

1-10			
主題	足トラブルを抱えていることに関連した ADL の低下の改善		
副題	ご利用者の足にかかわる問題を改善することで毎日の生活が変わる		
キーワード1	足トラブル回避	キーワード2	フットケア向上
研究(実践)期間	12 ヶ月		

法人名	社会福祉法人 白秋会
事業所名	特別養護老人ホーム 泰山
発表者(職種)	宇都宮純(看護師)
共同研究(実践)者	なし

電話	03-5622-1165	FAX	03-5622-1673
----	--------------	-----	--------------

今回発表の事業所やサービスの紹介	東京都の北部、江戸川区で逆デイサービス等を実施し地域の中で楽しく交流を持つことができる、定員 72 名の特別養護老人ホームです。「どのような時代でも、誰もがご利用になれる福祉施設」「大切にされている」「歓迎されている」「尊重されている」と感じて頂ける、心がある事がモットーの施設です。
------------------	--

《1. 研究(実践)前の状況と課題》

特別養護老人ホームにおいて、看護師は主にご利用者の健康管理に重点を置き、バイタルチェックや急変時の対応、見取り介護等、専門性を生かした業務を行っているが、日常生活の中ではご利用者の爪切りは看護職の業務の一つでもある。

特に、特養に入居される要介護度の高いご利用者はご自分で足の爪を切ることができない方がほとんどであり、施設利用以前より、長い間丁寧な爪の処理ができていないことから、爪白癬や重度の巻き爪等多くの問題を抱え、その為に足自体が湾曲、変形している方も多く、そのような状況から、立位、歩行等が困難になり、健康状態の悪化を誘発しているとも考えられる事から、専門性のある医療、看護の観点からの更なるアプローチが課題であった。ご利用者の健康に効果があると期待される、専門性のある看護師によるフットケアを導入した。

《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》

(目的) 医療的知識の基、ご利用者の足のケアに重点を置き身体的、心的状況の改善を図る。

(仮説)

- ① 足のむくみ
- ② 静脈血のうっ血
- ③ 筋肉の硬化
- ④ 筋肉の柔軟性の低下
- ⑤ 足の疲労、運動不足

等、足から発生するトラブルの改善巻き爪や爪白癬の改善。

足の状況の改善による、ご利用者の運動機能の改善・心的状況の改善及び効果。

上記仮説を立て、目的を達成できるよう足の問題が重度化している方からアプローチを行っていくこととした。

《3. 具体的な取り組みの内容》

医療的見地による足の構造と特徴を考察したうえ、アロマを導入したマッサージ、ネイルケア等を施術し足の状況改善を図る。

①対象者；爪白癬、巻き爪などが重症化しているご利用者 3 名

M.Y 様 男性 (85 歳) 介護度 4

K.K 様 女性 (90 歳) 介護度 5

T.Y 様 女性 (95 歳) 介護度 5

②具体的な手法；アロマオイル・ワセリンなどを使用したフットマッサージとネイルケア

③時間；施術時間 1 時間程度 経過観察期間は一週間単位で実施（時間、期間は症状により異なる）

④手順；ホットパック等にて温める⇒アロマオイル等によりマッサージ⇒爪の処置⇒経過観察⇒改善状況に合わせ継続

⑤担当者；看護師

⑥連携；医師・健康状態と塗り薬などの指示居室担当介護職員・施術後の心的状況や ADL の状況等。の把握

⑦道具と費用；ネイルケアセット¥30,000 アロマオイルとワセリン¥5,000 程度

⑧成果のポイント；アロマによるマッサージを足の構造を熟知した看護職が行うことで重症化した爪白癬や巻き爪の手入れも丁寧にスムーズに行えた。

⑨施設体制；年間事業計画にも取り入れ施設全体で継続的に取り組む体制を整備した。

《4. 取り組みの結果》

M.Y 様・重度の爪白癬が改善され、足のむくみも解消された。

K.K 様・突起し変形した爪が入浴時に柔らかくなかった爪が剥がれるなどのトラブルが無くなりきれいな足に改善された。

T.Y 様・爪が皮膚に張り付いて爪切りの度に出血をしていたが改善された。

3 名のご利用者共通・爪の状況が改善されたことで爪切等についても嫌がる事が無くなった。

《5. 考察、まとめ》

特養において生活全般の支援を行う中、看護職の専門性を生かし足に特出してケアを実施する事に着目した事で目的としたご利用者の身体的、心的状況の改善が達成できた。単に足の爪ではなく、それに付随する衛生管理やむくみ解消、ご利用者自身の手を届くことができない場所である爪を綺麗に整える事等は、施術したご利用者の状況からとても穏やかな精神状態になられた事が窺えた。

また、足の爪が整えられることで、立位や歩行についても拒否がなく動かれていることから ADL 向上に大きく影響している事も検証で来た。

今後の課題としては、爪の状況により 1 回の所要時間が長いため、同時期に多くのご利用者への施術が困難である為、取り組むべきご利用者の状況把握が重要であり、施術後の経過観察のあり方も、協働で行える体制整備が必要であると考えます。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

尚、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人、ご家族に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

《7. 参考文献》

糖尿病学会・糖尿病疾患指導要領

看護部フットケアチームカンファレンス指針

《8. 提案と発信》

特養において、爪切、白癬病、浮腫等足のケアも恒久的な課題である。施術ができる職種の問題、衛生管理の問題、ご利用者の健康問題などが挙げられるが、社会の動向等による介護保険制度の変革が続いている中、私達ご利用者と直に接する職員は、少し伸びてしまった爪、靴下を履く度に痛む足先に気づく事等、ご利用者の皆様に毎日を快適にお過ごし頂く事が最優先です。些細な事も見逃さない「気づきのある職員」であり続けたいと考えております。